

別紙1 事務事業評価(中間評価)シート【令和4年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)			
事務事業名	奨学資金貸付運営経費		事業番号	159
重点プロジェクト	■該当 □非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分 ■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-5 高等学校教育の充実
	施策目標	豊かな心と健やかな体を育む高等学校教育が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	高校・大学へ進学希望の成績優秀者で経済的理由で就学困難な学生
	対象者の今後の予想	横這い
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	現在、市内中学生の高校進学率は、ほぼ100%となっており、義務教育的な側面が強くなっていることや、市内には大学や専門学校等がないことから、高等教育機関への進学に係る家庭の経済的な負担を軽減するため、入学準備金及び奨学資金を貸付する。	
意 図 (どのような成果を得ようとしているのか)	経済的な理由で学生の向学心が排除されることのないよう、教育機会の拡充を図り、保護者の経済負担の軽減を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H27)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			H30	R1	R2	R3	R4		
1	奨学資金の貸付件数(年間:新規貸付・継続貸付含む)	5人	7人	7人	4人	4人	3人	5人	5人
2									
3									
4									
事業費(=下記内訳計)				R4予算		R4決算		R5予算	
				1,802		384		1,286	
内 訳	国庫支出金								
	地方債								
	その他			1,316		384		1,286	
	一般財源			486		0		0	
人員(人工)									
職員人件費(=人員(人工)× 7,513 千円)				0		0		0	
総事業費(=事業費+職員人件費)				1,802		384		1,286	
単位コスト実績値 1(=総事業費÷成果実績値)				601		128			
単位コスト実績値 2(=総事業費÷成果実績値)									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input checked="" type="checkbox"/> 検討中 <input type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	国の動向を踏まえながら、給付型奨学金等の実施など、市民がより利用しやすい方法を検討する。
今後の動向・市民ニーズなど	市中経済の低迷により、貸付相談は年間数件程度あるものの、貸付額が少額のため、貸付に繋がるケースは少ないが、潜在的なニーズは一定程度あると思われる。

5 事務事業の評価

ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない 新規貸付者数は毎年3名程度おり、奨学援助に繋がっている。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか(民間、NPO等)	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 教育基本法の定めにより、市町村が奨学金制度を実施しなければならない。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 国では平成29年度より給付型奨学金制度を導入し、制度の拡充を図っているところであり、当市においても国等の動向を踏まえつつ、制度のありかたについて検討する必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 「根室市奨学資金貸付条例」により貸付額等が定まっているため。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない
カ. 受益者に負担をいただく(又は負担を見直す)可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある 奨学資金等の貸付については、無利子ではあるが全額償還としており、制度の趣旨からも、更なる負担を求める考えはない。

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続 (<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替) <input type="checkbox"/> 終期設定あり (R 年度末終了予定) <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和5年11月

別紙1

事務事業評価(中間評価)シート【令和4年度】

主管課名(担当名)	教育総務課(学校教育担当)				
事務事業名	幼保小中高教育連携事業		事業番号	12882	
重点プロジェクト	■該当 □非該当	評価時期	■中間 □事後	事務区分	■自治 □法定受託

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	3-5 高等学校教育の充実
	施策目標	豊かな心と健やかな体を育む高等学校教育が充実したまち

2 事務事業の概要と目的

対 象	事務や事業が対象としている人や団体など	幼保小中高の児童生徒および教員等
	対象者の今後の予想	同程度～減少傾向
活動内容 (事業の概要や具体的な内容、方法など)	学力向上に向けた「指導力の向上」や「標準学力検査」の実施。 高校における情報教育の推進や学校間を超えた教職員の連帯等、幼保小中高連携に係る各関係組織を通じた取組み。	
意 図 (どの様な成果を得ようとしているのか)	幼稚園・保育所から小・中・義務教育学校を経て高校に至るまでの積極的な連携を図ることで、学びの連続性を保障し、学力向上や豊かな人間性を育み、当市の子どもたちが、「たくましく社会を生きる力」を育成するとともに将来の街づくりを担う人材の輩出を図る。	

3 事務事業の現状

活動指標名		計画値 (H28)	実績値					目標値 (R2)	目標値 (R7)
			H30	R1	R2	R3	R4		
1	全国学力調査正答率・全道平均(小学校・国語／算数)	0.55/0.52				0.64/0.64	0.59/0.54		0.63/0.64
2	全国学力調査・正答率・全道平均(中学校・国語／数学)	0.57/0.43				0.57/0.47	0.60/0.35		0.72/0.58
3	キャリアノート配布数	188冊 (100%)				167冊 (100%)	170冊 (100%)		100%
4	根室高等学校PC貸与数	162台 (100%)				180台 (100%)	175台 (100%)		100%
事業費（＝下記内訳計）				R4予算		R4決算		R5予算	
内 訳	国道支出金			※再掲(事業費は3-3で計上)					
	地方債								
	その他								
	一般財源								
人員(人工)									
職員人件費（＝人員(人工)× 7,513 千円）					0		0		0
総事業費（＝事業費＋職員人件費）					0		0		0
単位コスト実績値 1（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 2（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 3（＝総事業費÷成果実績値）									
単位コスト実績値 4（＝総事業費÷成果実績値）									

4 事務事業の見直し状況や行政課題など

(事前評価にかかげた課題について記入)

見直し状況	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し・改善済み <input type="checkbox"/> 見直しをしたが改善に至っていない <input type="checkbox"/> 検討していない
見直しの内容など	学力向上対策とともに、幼保小中高の連携を視野に入れた包括的な事業として見直しを図った。
今後の動向・市民ニーズなど	学校関係者から、学校間を超えた連携を求める要望があるほか、当市の将来を担う人材の輩出には、子どもたちの健全な育成や学力向上が不可欠である。

5 事務事業の評価

	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 一部結びついている <input type="checkbox"/> 結びついていない
ア. 意図する成果に有効に結びついていますか	幼保小中高にわたる連携と情報共有により、子どもたちの健やかな発達や学びの連続性を保障し、学力向上や豊かな人間性を育むとともに、ICT機器を有効活用した学びの継続により、子どもたちが社会に通用する資質の育成が図られた。
イ. 市以外がその事業に取り組むことは可能ですか（民間、NPO等）	<input type="checkbox"/> 可能 <input type="checkbox"/> 一部可能 <input checked="" type="checkbox"/> 不可能 幼保小中高までの連続した学びを保障することは、個人や他団体等には困難なため。
ウ. 事業内容の中で、見直しを行う必要はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 学力向上や幼保小中高の連携において、より効果的な取り組みについて、今後も検討を続ける必要がある。
エ. 単位コストまたは事業費を工夫できるアイデアはありますか	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input type="checkbox"/> ない 資器材の購入等にあたっては、費用対効果や性能等を検証しながら、より効果的な事業の執行に努める。
オ. 他の事業との統合について可能性がありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 一部ある <input checked="" type="checkbox"/> ない 学力向上対策や幼保小中高の連携等、教育の推進を図る観点から、より包括的な事業となっている。
カ. 受益者に負担をいただく（又は負担を見直す）可能性はありますか	<input type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> 検討の必要性がある <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 既に負担がある

6 事務事業の今後の方向性

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続（ <input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 手段を見直す <input type="checkbox"/> 効率化 <input type="checkbox"/> 簡素化 <input type="checkbox"/> 統合・振替） <input type="checkbox"/> 終期設定あり（R 年度末終了予定） <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 完了
--------	--

作成年月日

令和5年11月